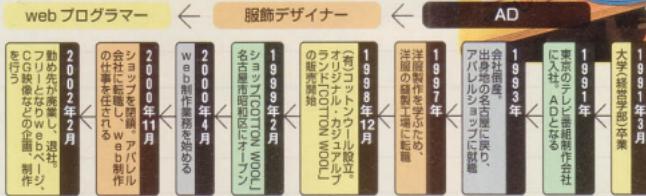


# 新しいことに次々 チャレンジ



Cotton Wool web プログラマー  
**森 敬祐さん (33歳)**



未経験の仕事には、世界が広がる楽しさがある。人生、好きなことをやつてみたい。

森さんからの転職アドバイス

「自分はこの仕事しかできない」と、業種にとらわれすぎてはダメ。どんなことでも1年頃ければエラうな顔ができるので、メリットだけを見て転職しましょう。未経験への転職もやる気さえあれば何とかなります。

「自分はこの仕事しかできない」と、業種にとらわれすぎてはダメ。どんなことでも1年頃ければエラうな顔ができるので、メリットだけを見て転職しましょう。未経験への転職もやる気さえあれば何とかなります。

「自分はこの仕事しかできない」と、業種にとらわれすぎてはダメ。どんなことでも1年頃ければエラうな顔ができるので、メリットだけを見て転職しましょう。未経験への転職もやる気さえあれば何とかなります。

「自分はこの仕事しかできない」と、業種にとらわれすぎてはダメ。どんなことでも1年頃ければエラうな顔ができるので、メリットだけを見て転職ましょう。未経験への転職もやる気さえあれば何とかなります。



ミュージシャンNAHKIの公式サイト (<http://www.nahki.com>)も手掛けている森さん。大手音楽好きでもある森さんは、NAHKIを温めている。Cotton Woolホームページ:  
<http://www.cottonwool.jp>

## 成功へのポイントはココ!

**不** 可能そうな転職を成功させた人に、もしも共通する才能があるとすれば、それは努力する才能ではないだろうか。出張を Barnes に頑張った石井さん、インターナショナルの延期をチャンスに変えた林さん、レタス栽培の失敗を「そのうちなんとかなる」と乗り越えた久野さん、勤務先の倒産や廃業をスッップアップのきっかけにした森さん……。今回取材した転職経験者4人は、それぞれの事情は違うものの、一人一人努力しているという点では共通している。決して特別な能力があるわけでも、スーパーハイチャレンジなわけでもない。自分の気持ちに忠実に、目標に向かって

努力。実は努力できる才能というのは、すごい才能なのである。その努力を引き出すのは、やはり、何かを成し遂げたいという強い思いしかない。「Tom Wood」代表の日比伸也さんは、林さんのインタビュー後に、「上手下手よりも熱心さが大事。どんなことでもヤル気さえあれば2年で得られるものです」と話してくれた。心の底から夢の中にいるモノに出会ったとき、本物のヤル気と一生懸命努力する才能が開花し、不可能を可能に変える力が湧いてくるのかもしれない。

にして、Webシステムを作る事が、人生だが、夢を語るその目には、自分にしてみた「夢を語らせる」ために、転職先の便乗など困難な状況に翻弄されているよう見える森さんの転職にしてみた「夢を語らせる」ために、転職先の便乗など困難な状況に翻弄され、そんな中で、自分自身の夢を語らせる事に、自分

